

■ 現状等整理資料

1. 箇所図	
(1) 地形、地質状況	1
2. 施設概要および利用状況	
(1) 施設概要、施設利用状況	5
3. 法規制等状況	
(1) 法規制状況一覧	11
(2) 法規制図	13
・都市計画法、景観法	
・森林法（保安林）	
・砂防関連	
・自然公園法	
・文化財保護法	
4. 公共施設の整備状況	
(1) 交通アクセス図	29
(2) 防災拠点現況図	33
5. 立地特性等	
(1) 公共公益施設分布図（2 km、5 km）	37
(2) 学校、大規模店舗分布図	45
(3) 人口分布図〔市町別〕	49
(4) 企業集積（従業者）分布図〔市町別〕	50
(5) 飲食店分布図〔市町別〕	51
(6) 宿泊定員分布図〔市町別〕	52

彦根総合運動場候補地の地形・地質等

【地形】

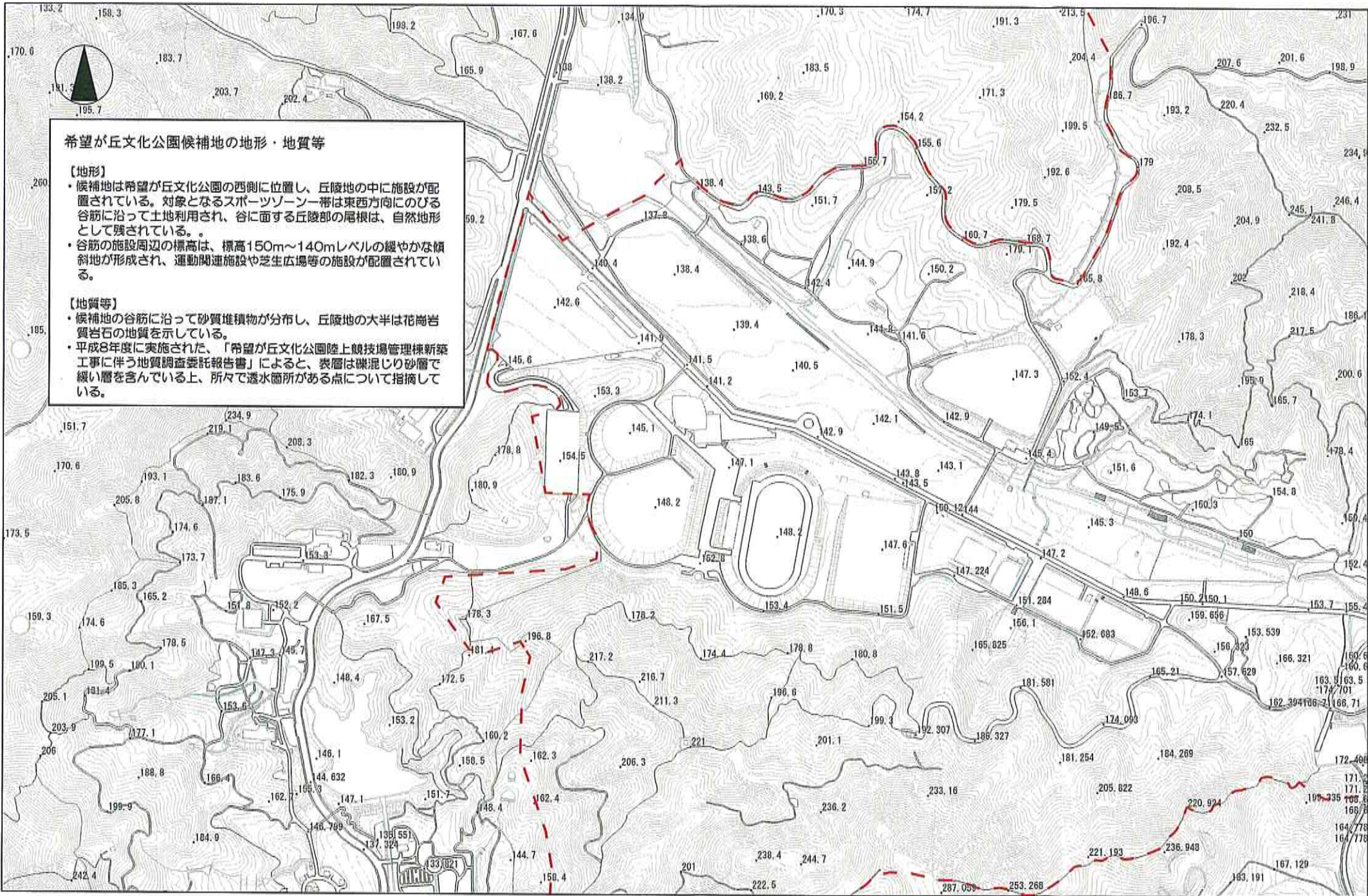
- 候補地は彦根城の北東側に位置し、城址の堀割以北の周辺地形は平坦な地形を示している。
- 候補地敷地内の地形は、概ね標高86mレベルの平坦な地形であり、陸上競技場や野球場等の施設が配置されている。

【地質等】

- 候補地周辺は概ね泥がら堆積物の表層地質を示している。
- 平成8年度に実施された、「彦根総合運動場陸上競技場土質調査委託報告書」によると、対象地が干拓による埋め立て地に位置している点に言及している他、非常に軟らかい地層が厚く堆積している軟弱地盤で構成されている点、沈下の発生の可能性が大きい点、さらに現状においても沈下現象が見られる点について指摘している。

S=1:5,000 (A3)

0 50 100 200 300m



希望が丘文化公園候補地の地形・地質等

【地形】

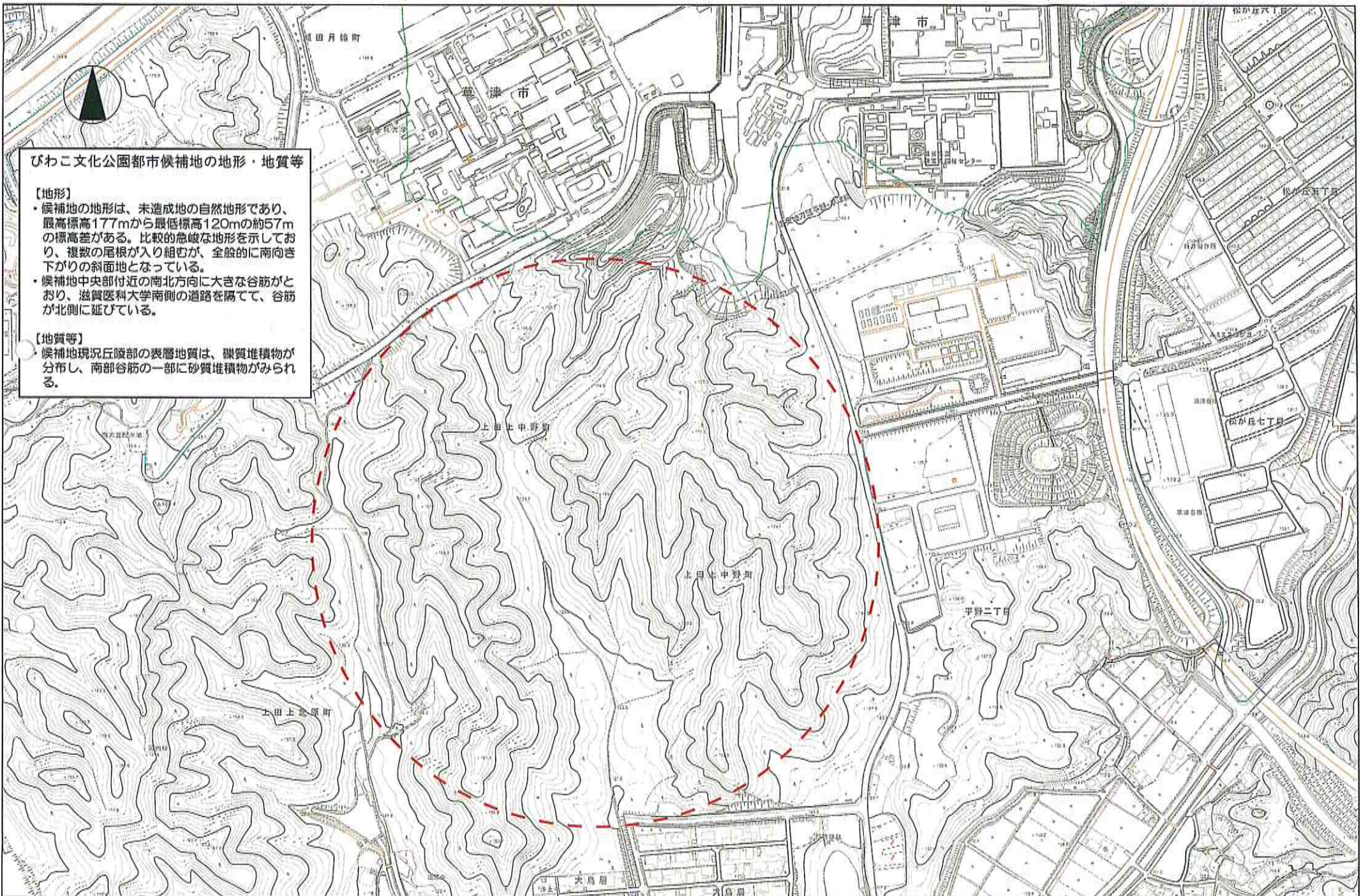
- ・候補地は希望が丘文化公園の西側に位置し、丘陵地の中に施設が配置されている。対象となるスポーツゾーン帯は東西方向にのびる谷筋に沿って土地利用され、谷に面する丘陵部の尾根は、自然地形として残されている。
- ・谷筋の施設周辺の標高は、標高150m～140mレベルの緩やかな傾斜地が形成され、運動関連施設や芝生広場等の施設が配置されている。

【地質等】

- ・候補地の谷筋に沿って砂質堆積物が分布し、丘陵地の大半は花崗岩質岩石の地質を示している。
- ・平成8年度に実施された、「希望が丘文化公園陸上競技場管理棟新築工事に伴う地質調査委託報告書」によると、表層は礫混じり砂層で緩い層をきんでいる上、所々で透水箇所がある点について指摘している。

S=1:5,000 (A3)

0 50 100 200 300m



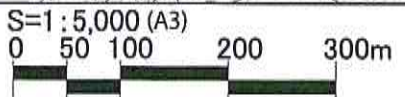
びわこ文化公園都市候補地の地形・地質等

【地形】

- 候補地の地形は、未造成地の自然地形であり、最高標高177mから最低標高120mの約57mの標高差がある。比較的急峻な地形を示しており、複数の尾根が入り組むが、全般的に南向き下がり斜面地となっている。
- 候補地中央部付近の南北方向に大きな谷筋があり、滋賀医科大学南側の道路を隔てて、谷筋が北側に延びている。

【地質等】

- 候補地現況丘陵部の表層地質は、礫質堆積物が分布し、南部谷筋の一部に砂質堆積物がみられる。



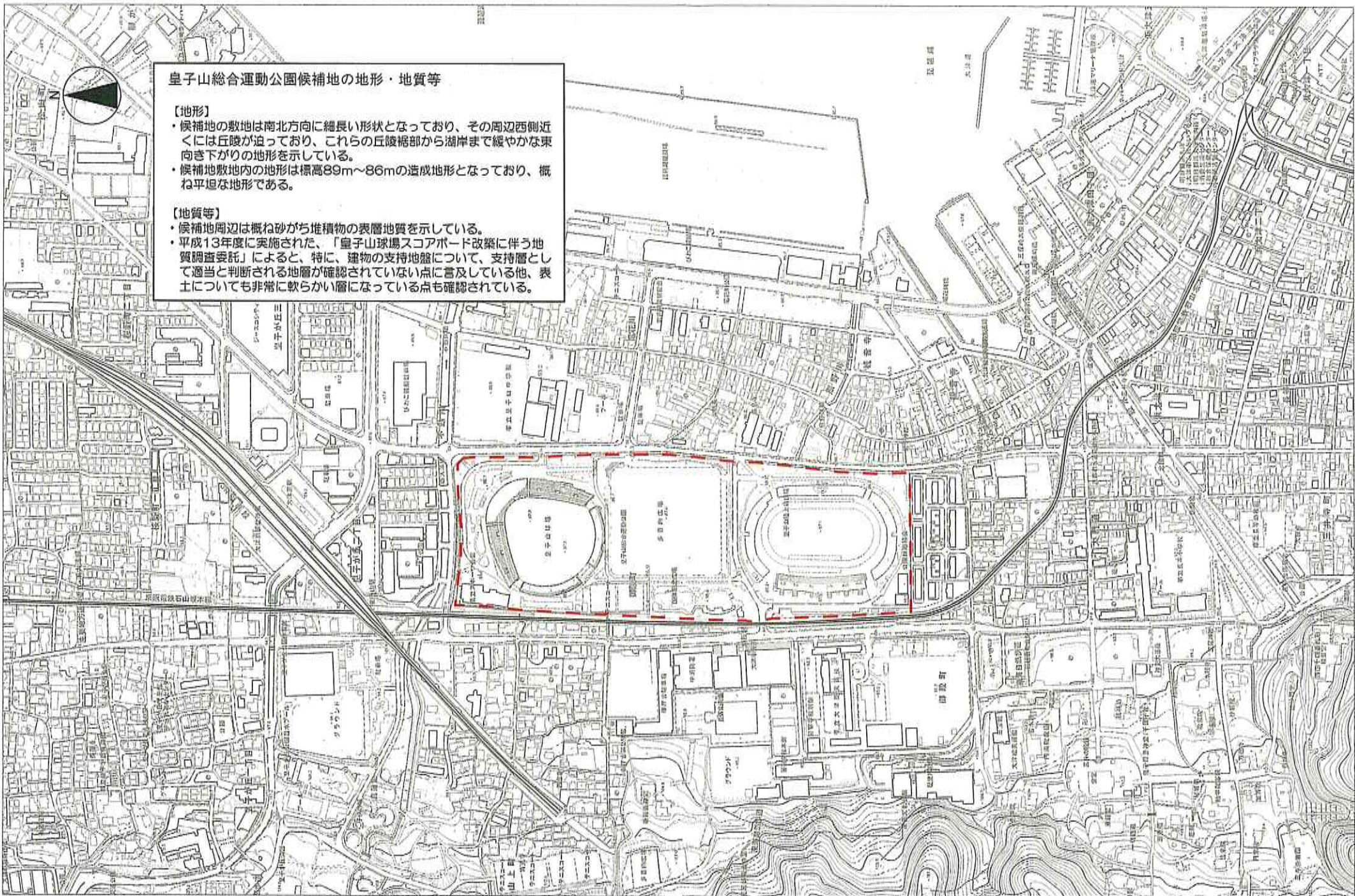
皇子山総合運動公園候補地の地形・地質等

【地形】

- 候補地の敷地は南北方向に細長い形状となっており、その周辺西側近くには丘陵が迫っており、これらの丘陵裾部から湖岸まで緩やかな東向き下がり地形を示している。
- 候補地敷地内の地形は標高89m～86mの造成地形となっており、概ね平坦な地形である。

【地質等】

- 候補地周辺は概ね砂が堆積物の表層地質を示している。
- 平成13年度に実施された、「皇子山球場スコアボード改築に伴う地質調査委託」によると、特に、建物の支持地盤について、支持層として適当と判断される地層が確認されていない点に言及している他、表土についても非常に軟らかい層になっている点も確認されている。



S=1:5,000(A3)

0 50 100 200 300m